

かしま 議会だより

第119号

令和6年9月定例会号

令和6年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



SAGA2024鹿島市団結集会

| | |
|-------------------|--------|
| 9月定例会 | P2～P3 |
| 議案審議 | P4 |
| 一般質問(12名) | P4～P10 |
| 決算審査特別委員会委員長報告 | P11 |
| 討論 | P12 |
| 意見書 | P13 |
| 環境未来都市特別委員会行政視察報告 | P14 |
| 議会運営委員会行政視察報告 | P15 |
| 議場コンサートのご案内 | P15 |
| 議会報告会のご案内 | P15 |
| 議会あれこれ／議長交際費 | P16 |



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会



70th
Anniversary
KASHIMA

2024年は鹿島市制施行70周年



鹿島市公式アカウント
てのひら役所



いまずぐ友だち追加!

定例会

鹿島市議会

令和6年9月定例会 会期日程

1、会期

自 令和6年9月3日

至 令和6年10月3日

2、日程

【9月】

3日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程(市長の提案理由説明)

4日・休会(議案研究)

(一般質問 発言内容通告締切)

5日・休会(議案研究)

6日・休会(議案研究)

7日・休会

8日・休会

9日・決算説明、委員会付託、議案審議、質疑、討論、採決

10日・議案審議、質疑、討論、採決

11日・休会(議案研究)

12日・文教厚生産業委員会(意見書審議)

13日・休会(議案研究)

14日・休会

15日・休会

16日・休会

17日・決算審査特別委員会(開会、現地調査)

18日・決算審査特別委員会

(教育委員会、市民部、産業部)

19日・決算審査特別委員会

(政策総務部、建設環境部)

| | 釘尾勢津子 | 宮崎 幸宏 | 笠継 健吾 | 中村日出代 | 池田 廣志 | 杉原 元博 | 樋口 作二 | 中村 一堯 | 松田 義太 | 勝屋 弘貞 | 角田 一美 | 伊東 茂 | 福井 正 | 松尾 征子 | 中村 和典 | 徳村 博紀 | 採 決 結 果 | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|---------|----|
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 認定 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 認定 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 認定 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 認定 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 認定 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 適任 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

20日・決算審査特別委員会
 (特別会計、企業会計、討論、採決)
 21日・休会
 22日・休会
 23日・休会
 24日・休会(議案整理)
 25日・休会(議案整理)
 26日・一般質問(4名)
 27日・一般質問(2名)
 28日・休会
 29日・休会
 30日・一般質問(3名)
 【10月】
 1日・一般質問(3名)
 2日・休会(議案整理)
 3日・委員会報告、議案審議
 ・質疑、討論、採決
 ・閉会

次のことを審議し決定しました

【令和6年9月定例会】

| | |
|--------|--|
| 議案第32号 | 令和5年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第33号 | 令和5年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第34号 | 令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第35号 | 令和5年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について |
| 議案第36号 | 令和5年度鹿島市水道事業会計決算認定について |
| 議案第37号 | 令和5年度鹿島市下水道事業会計決算認定について |
| 議案第38号 | 鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について |
| 議案第39号 | 県営土地改良事業負担金に係る分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について |
| 議案第40号 | 令和6年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について |
| 議案第41号 | 令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第42号 | 令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第43号 | 令和6年度鹿島市水道事業会計補正予算(第1号)について |
| 議案第44号 | 令和6年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について |
| 議案第45号 | 財産の取得について(追認) |
| 諮問第3号 | 人権擁護委員候補者の推薦について |
| 意見書第1号 | 小中学校の学校給食の無償化を求める意見書(案) |
| 意見書第2号 | 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書(案) |

議案 審議

議案第32号 令和5年度鹿島市
一般会計歳入歳出決算認定の
大網質疑

議案第32号

令和5年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



伊東 茂議員

質問 令和5年度の
決算による歳出、約
172億9600万円の
35・9%が民生費である。
年々、民生費は増加傾向

答弁 歳出の削減・歳入
確保（ふるさと納税推

であり少子高齢化は加速
し社会福祉費の確保は重
要と考える。加えて、庁
舎を含めた公共施設の老
朽化による改修など財源
確保に努めなければなら
ない。現在、取り組んで
いる行財政運営プランを
問う。

進、行政財産使用料の見
直し）による歳入増を目
指し、効率的で持続的な
行政運営に努める。更に、
職員の能力向上・ICT
活用に取り組み行政サー
ビスを落とさぬよう努め
る。

一般質問

一般質問に12人が
登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

9月26日、27日、30日、10月1日に行われた一般質問の
YouTube動画を観ることができます。

【9月26日】



釘尾 勢津子 議員
松尾 征子 議員
杉原 元博 議員
福井 正 議員

【9月27日】



中村 日出代 議員
樋口 作二 議員

【9月30日】



中村 和典 議員
松田 義太 議員
宮崎 幸宏 議員

【10月1日】



角田 一美 議員
池田 廣志 議員
勝屋 弘貞 議員



釘尾 勢津子 議員

現行の健康保険証から マイナ保険証への移行について

質問 2023年6月マイナンバー法などが改正された。現行の健康保険証が廃止され、本年12月2日より保険証の新規発行は出来なくなり、マイナ保険証への移行が求められる。

マイナ保険証を用いたデジタル化された情報はとても危険である。日本では今年2月外交上の重要機密情報を含む外務省のシステムが中国のサイバー攻撃を受けて大規模な情報漏えいがあった。貯金が銀行にあるのは分かってるので、全部マイナンバーと連結してしまえば、「貯金に税金をかけていく」事も可能になる。マイナンバー制度も、住民の幸福のための「手段」ではなく、「目的」に変貌していないか。

答弁 マイナ保険証の情報漏えいリスクについて

国が示す考え方として、国は医療機関や薬局の窓口職員がマイナンバーを取り扱うことはなく、他人がマイナンバーを使って手続きすることはできない仕組みになっている。

道徳教育の現状と課題について

質問 善悪を教える道徳教育の基礎となる、小・中学校の学習指導要領には「道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし」と定められているが、本市においてどのような道徳教育が行われているか。

答弁 教材で取り扱われた内容によって行動を変容させるといっても、変化の激しい社会の中を生き抜く力を身に付ける

事が大切になる。そのため、毎時間の主題に対して、常に自分の考えを持ち、他者と議論する事で、自分の考えを広げたり、深めたりして、道徳的価値を自覚していく事が大切。鹿島市学校教育方針の中で「ふるさと・命・思いやり」を重点目標の一つに挙げ、ふるさと「鹿島」を愛し、心豊かでたくましい児童生徒を育む教育を推進している。



松尾 征子 議員

学校給食センター従事者の 職場環境は

質問一 猛暑が続く今年の夏、鹿島市の学校給食センターは、冷房の設備もない中で仕事をされている。天井ははがされゴミが落ちてもあるという。建物は隙間も多く、虫やゴミが飛ぶので扇風機も置けないという。何年に建てられたのか。

答弁 55年建設、44年経っている。調理場は61年に建て替えて38年経っている。建物天井が高く、調理場全体に空調機を設置することができない状況。室内の温度は30度を超し決して良い職場環境とは言えない。スポットクーラーについても6台設置しているが、冷却効果はない。

質問二 調理場が30度を超すと説明があった。学校給食衛生管理基準には調理場は換気を行い、

温度は25度以下、湿度は80%以下に保つよう努めること。また調理室及び食品の保管室の温度及び湿度並びに冷蔵庫及び冷凍庫内部の温度を適切に保ち、これらの温度及び湿度は毎日記録することとなっている。調理場が40度ほどになるとしたら大きな問題。毎日の記録はどうされているのか。

答弁 61年度の建設で古くなっている。当時は基準を満たし温度も高くなかった。現状は一部基準を満たしていないところがあると考えられる。

質問三 最低基準はしっかり守らなければいけない、子供たちの大事な給食を作るところ。建物が古いとかの理由付けは許せない。このことについてどのように考えるのか。

答弁 職場環境がいいと

は思わない。施設整備をやり直すという考えで取り組んでいく。

質問四 建て直せば、解決できる。しかし建設をするとしても今の問題はすぐに解決できない。例えば、今自ら空調服を買って使っている人もいると聞いている。一着2万5千円といいますが20人分50万円、実現してもらいたい。

答弁 空調服ということですが現場とも話し合い解決策を考えたい。





杉原 元博 議員

「鹿島市手話言語条例」の制定について

質問一 これまでに手話言語条例を制定した自治体は、全国で540自治体に上る。制定が広がった要因をどう捉えているのか。

答弁 障がいがある人の権利擁護の制度整備が図られ、社会においても障がいのある人の権利に関する意識が高まってきた事が要因の一つではないかと思う。

質問二 鹿島市で手話通訳をされている方の数と主な活動について聞く。

答弁 手話通訳者として活動しておられるのは4人。本市で開催されるイベントや講演会の他、支援を必要とする個人に帯同して通訳を行っておられる。また手話講座を開催するなど手話の普及活動を続けておられる。

質問三 手話言語条例制定に向けての鹿島市の考

えを聞く。

答弁 今年2月から6月で鹿島手話サークル主催の手話言語条例勉強会に担当職員が参加。手話が言語であるという認識に基づき施策を推進し、制定に関して検討を行っている。

「睡眠教育」について

質問一 子どもたちの睡眠状況と睡眠時間について把握しているのか。

答弁 平均睡眠時間は小学6年が7・9時間、中学3年が7・1時間。学年が上がるにつれ眠りにつく時間が遅くなり、睡眠時間が短いという結果。市独自に調査は行っていない。

質問二 家庭環境や保護者のサポートが必要不可欠。この点についての考えを聞く。

答弁 小中学生のイン

ターネットの安全利用に関する指針及び約束を定め、生活習慣が乱れないよう取り組んできた。今後PTAと連携し、児童生徒の睡眠環境を守る取り組みを継続していく。

質問三 睡眠教育の導入と普及について。

答弁 先ずは低学年の生活科や中学年、高学年、中学校の保健体育に系統的に配置されている睡眠に関する学習指導を続ける。その上で、発達段階に応じた生活リズムを振り返る実践の徹底を指導し、睡眠環境の改善に努める。また各校区の実情に応じた効果的な取り組みができるよう、コミュニケーションスクールの機能を活用し、地域との連携を進めていく。



福井 正 議員

鹿島市の産業支援について

鹿島市の一次産業について

鹿島市の人口は、人口戦略会議の報告書では消滅自治体ではないが、社会減対策が必要だそうである。産業が衰退したら人口減少につながる。鹿島市の産業について質問する。

質問一 鹿島市の一次産業に従事される農家戸数と一次産業の状況は。

答弁 一次産業戸数は千八十三戸である。一次産業の状況は、農業で後継者問題や、新規就農者が少ない状況である。水産業において有明海の海況が悪化しており、漁業不振が続いている。海苔養殖に関して、海況悪化とカモ被害などで打撃を受けている。

質問二 農業後継者への

支援策は。

答弁 新規就農五十歳未満支援金は最高年百五十万円があり年間5組に支援している。それでも後継者不足は深刻だと思う。

質問三 鹿島市の商工業の状況はどうか。後継者がおられるのか。

答弁 後継者は少ない。このままでは廃業される方も増加する可能性がある。

質問四 商工業の後継者問題は深刻だと思いが対策は。

答弁 高齢者問題は深刻にとらえている。ただ商工業者の方は、家屋を所有しておられる方が多く、家族以外の方が引き継ぎにくい状況がある。なかなか難しい状況である。商工会議所と相談しながら対策を考える。

質問五 有明海の魚介類は特に貝類の生産が減少している。台風10号が8月末に有明海上空を通ったその影響は。

答弁 有明海の魚介類生産は減少している。ただ台風10号が海上を通過したことで、海が攪拌され海水温が下がった。濁泥の栄養塩が上昇、珪藻が発生し沖合に移動し赤潮発生が抑制されたようだ。今後施肥などの取り組みや、カモ対策にも取り組んでいく。カモは漁業だけでなく農業にも影響があり、カモ対策に取り組んでいく。



中村 日出代 議員

鹿島市学校給食センターの劣悪な職場環境について

質問一 古い、調理場棟は築44年。体育館のような造りで、空調設備は無く暑い。作業の服装は頭のキャップ、マスク、前掛け、手袋、長靴、驚いたのは空調服（ファン付）を着て作業されている事で、空調服は外での作業の時に着用するとはばかり思っていた。施設の温度計は40度を超え夏場は蒸し風呂状態だ。教育総務課はこの環境をどのように認識しているのか。

答弁 天井が非常に高く夏場は全体を冷やさない構造となっている。調理員の職場改善は上手くいっていない。

質問二 夏場は40度を超える調理場で子供達の給食を作っている。暑い室内温度を冷やすためにスリットクーラーが設置してある。広い給食センターに6ヶ所しか無い。

スリットクーラーを増やす、古いスリットクーラーを取り替えるようにして頂きたい。

答弁 増設対策は今後の予算措置等で取り組めるようにしたい。

市民交流プラザ 浴室利用の日曜日休業について

質問 市長は公施設を休業にする権限が無い。根拠は地方自治法第149

条、市長は公の施設を設置し、管理し、及び廃止することができる。権限が無いのにどうして休業できるのか。

答弁 利用できない説明をしている。館内でも2月から休業の張り紙をしている。ホームページに休業のお知らせをしている。



鹿島市学校給食センター



樋口 作一 議員

デジタル社会に抱く不安について

マイナンバーカードと健康保険証について

質問 今後、健康保険証の取り扱いはどうなっていくのか。

答弁 マイナンバーカードを持っていない人や健康保険証と紐づけしていない人には資格確認書が送付される。マイナ保険証に登録している人には資格情報のお知らせが発行され、ポータルサイトにつながる。また、マイナンバーカードを紛失した時は、再発行はすぐにはできないので、その間資格確認書が送付され、受診ができる。

ネット詐欺への対応について

質問 インターネットやメールなどによる詐欺にはどのように対処すれば

いいのか。

答弁 詐欺の手口は巧妙・多様化しており、鹿島警察署管内でも急激に増加している。インターネットにはいつも危険が潜んでいるとの認識を持ち、個人情報を入力しないことが大切である。詐欺であると認識した場合は、鹿島警察署か市役所の消費者生活相談窓口で対応している。

子どもの成長への影響について

質問一 スマートフォンが子どもの成長に及ぼす影響をどうとらえているか。

答弁 スマホは、中学3年生では8割以上持っているのではないかと推察している。子どもの豊かな成長にはよくないと考えるので学校では禁止、家庭でも午後9時以降は

熊本県の半導体バブルについて

質問 熊本県の半導体製造は有明海に影響がないのか。

答弁 半導体製造で使用された水は各自治体の下水処理施設で浄化され、汚染基準内の水質で海に流れるので特に問題はない。



中村 和典議員

農業の地域計画の 取り組みについて

質問 鹿島市農業の現状と課題について、また、今総力を挙げて取り組んでいる「地域計画」とはどのようなものか。

答弁 市内六地区の共通した課題として、①担い手の減少と高齢化②耕作放棄地の拡大③イノシシ等被害の拡大④農作物の適正価格⑤農地の集積や集約などがある。地域計画とは、来年三月末までに国の法律に基づいて、おおよそ一〇年後の農地利用の姿を、目標地図に明確に示し、農地バンク

を利用した農地の集約化等について、六地区の農業者の話し合いにより、農業の将来計画を作るものである。

質問一 鹿島市において、この一〇年間、地方創生に取り組んできたがその成果は。

答弁 人口減少対策については、若者世代の都市への流出が課題であったが、市内企業就職説明会やビジネスサポートセンターによる企業支援等により、転出超過の現象が少しずつ改善しつつある。

質問二 この間、どのような国・県事業に取り組んできたか。

答弁 国の事業では、肥前浜宿まちなみ活用事業、ビジネスサポート

センター運営事業、観光プロモーション事業など、約4億5千万円の事業を行った。県の事業では、婚活支援活動やサフラン栽培など、約3億2千4百万円の事業を行った。

市長と語る会について

質問 七月に市長就任後二回目の語る会を実施された。市民から寄せられた人口減少に対する危機感、婚活支援、働く場の確保などの意見に対する市長の思いと今後の施策は。

答弁 六地区で、二〇五名の参加をいただいた。人口は、一〇年間で約3千人が減少している。今後、子育て支援、教育、働く場の確保、産業活性化、街の利便性と魅力向上など、総合的な施策を進めていく。

学校給食センターについて

質問一 学校給食センターにおいては、安心安全な給食を提供するための早急な対応と抜本的な改善が必要である。開設から約38年以上が経過した鹿島市給食センターの課題について伺います。

答弁 当市の給食センターは、県内で一番古く夏場は室温が30度を超えており、空調エアコンがなく、スポットクーラー、スポットエアコンで対応している。又、近隣市町において、ドライシステムが導入されていないのは鹿島市だけであり、環境改善は思うように進んでいない。

質問二 建替えの具体的な検討を早急に始めるべきでないか。財政負担、立地場所、整備時期など。

近隣の白石町では鹿島市と同様規模で、事業費約17億7千5百万円の負担となっている。
答弁 現状の改善と移転建替え整備の二つの課題を認識している。財源的なものも含めて検討を進めていきたい。

JR長崎本線の課題について

質問一 令和4年の西九州新幹線が開業し、江北駅から諫早駅までが上下分離方式になった。特急の大幅な減便、江北駅での乗り継ぎ問題や長崎方面への特急が無くなったことによる通勤通学への影響など、市民からの要望を多く聞くことになった。特に来年は、特急本数がさらに現行の14本から10本程度に減便が予定されている。近隣市町と連携し要望強化に努めて

ほしい。
答弁 佐賀県、太良町、白石町、江北町の沿線自治体と連携し、様々な課題に対して要望活動を行っている。
質問二 利用促進のための取り組みについては、市民への周知が重要なので、市報、ホームページのひら市役所等活用してもらいたい。



R6.9.25古枝・浜地域農業を考える座談会



鹿島市学校給食センター



宮崎 幸宏 議員

佐賀県事業に関係する 鹿島市の重要施策

質問一 鹿島市が誘致していた佐賀県立大学の設置について。

答弁 佐賀県立大学の拠点となる場所が佐賀市の佐賀総合庁舎敷地内に決定したことが佐賀県より発表された。

質問二 有明海沿岸道路及び国道498号鹿島武雄間の事業状況について。

答弁 有明海沿岸道路のうち福富鹿島道路については、佐賀県より令和4年度に鹿島側の一部ルートにて事業着手され、本年度において調査・設計が進められている。

国道498号鹿島武雄間は、佐賀県より本年度に約1km幅のルート帯が示され、今後、具体的な整備ルートが検討される。福富鹿島道路や国道498号鹿島武雄間の早期整備には、継続的かつ安定的な予算確保が必要

となるため、関係市町と協働しながら要望活動等をしつかりと取り組んでいく。

質問三 JR肥前鹿島駅周辺整備事業の本年度の経過と予定について。

答弁 JR肥前鹿島駅周辺整備事業に関する都市計画決定を行うべく、本年度に佐賀県と連携して地元説明会等を開催し、都市計画審議会に諮問している。

なお、駅舎、公共交通ロタリー、一般車ロタリーに関しては、佐賀県が事業を行い、鹿島市は、駅前交通広場、駐車場等の事業を行うことになり、現在、基本設計業務中である。

旧「鹿島市農村婦人の家」の建物解体

質問 旧「鹿島市農村婦人の家」建物を解体撤去



JR肥前鹿島駅周辺整備事業 平面図

した上で北鹿島農村運動広場の駐車場として整備（拡張）することを北鹿島地区は要望しているが、鹿島市の方針及び予定をどのように考えているか。

答弁 本建物は現在活用していないため、将来的には解体撤去を行う方針であるが、解体については今後適宜判断をしていく。



角田 一美 議員

高齢者介護施設の現状と 課題について

質問一 介護施設の施設数及び入居率はどのような状況か。

答弁 8月1日現在、特定施設 1箇所 96・3%、地域密着型特定施設 2箇所 98%、認知症対応型施設 8箇所 96・3%、老健施設 1箇所 91・3%、特別養護老人ホーム 1箇所 82・1%となっている。

質問二 鹿島市の将来人口と高齢者人口、高齢化率の見込みはどの位か。

答弁 令和22年度の人口は21,012人、高齢人口8,553人、高齢化率40・7%と見込まれている。

質問三 高齢者介護施設の過不足はないのか。

答弁 高齢者数、介護認定者数の推計や既存事業所等の状況から保険者が総量規制を行い、令和6年度から3年間は新設・

増床は予定されていない。

質問四 各介護施設の運営に苦慮されている。課題を把握しているのか。

答弁 過去5年間の介護事業所の新設5件、廃止6件。介護人材の確保や利用者の安定的な確保が困難であり経営が厳しい状況にある。

質問五 市の特別養護老人ホームの入居待機者の現状はどうか。

答弁 本年4月現在36人でここ数年の状況は、減少傾向と聞いている。

質問六 特別養護老人ホームの入居基準（要介護3以上）の緩和については地域の実情を考慮して特例入所（要介護1及び2）の柔軟な適用が必要と思うが、県の考え、鹿島市の対応方針はどうか。

答弁 県の考えはその通りで、声が上がってくれば基準の見直し検討する旨、回答があつている。介護保険事務所と協議の上、対応したい。

能古見花木庭地区・果樹回地の再開発について

質問 耕作放棄地が増大している。農地の集積、集約化で担い手に託す以外にない。地域計画策定での農家意向はどうか。

答弁 同地区内で桃、ブドウ等果樹栽培に取り組み意欲のある担い手が数名現れており国・県・市の補助事業の活用によりしっかり支援していく。



池田 廣志 議員

仕事があつて、安心して 住み続けられるまちづくりとは

第七次鹿島市総合計画 の改訂版について

質問 改訂版の「みんなが住みやすく、暮らしやすいまちづくり」とは。

答弁 本市は、豊かな自然と多くの伝統文化が残る街で、地域力を活かして、産業の振興、福祉・保健・医療の充実、都市基盤の整備、環境の充実、安心安全で教育やスポーツの振興に努めるなど、市と関係機関が連携することで、「みんなが住みやすく、暮らしやすいまちづくり」を実現させる取り組みを進めている。

鹿島市を元気で、住みやすい地域にするために

質問一 鹿島の「ものづくり」を磨き上げて、仕事を生み出すとは、また、鹿島の有利性を活かした情報発信による企業誘致

の推進とは、どの様な取り組みなのか。

答弁 鹿島の資源や特色を活かし、多様な商品開発に努め、異なる産業間が連携して新たな価値を生み出すなどの取り組みの事である。次に鹿島の有利性を活かした情報発信による企業誘致の推進とは、豊富な水資源や自然災害リスクの低さなどの情報を発信し、新たな企業誘致に繋げて行く取り組みである。

質問二 みんなが住みやすく、暮らしやすい街にするために、若者の新たな職場づくりとして、従来から申し上げているのが、秋田県にかほ市との姉妹都市交流を進め、将来の企業誘致に繋げるべきと思っているが。

答弁 都市同士の交流には、時間をかけて取り組んでおり、にかほ市との

交流は、担当者による話し合いを続けているので、にかほ市長に直接会って、自分の思いを伝えるために日程調整中である。

質問三 高齢者等の交通弱者の救済策として、周辺市町では、対策を講じているが、当市の対応は。

答弁 北鹿島地区・能古見地区・古枝のお住いの地区で、運送業者による予約型乗合タクシーで運行している。



勝屋 弘貞 議員

スポーツの振興について

質問 市長提案理由の折、「体育からスポーツへ」との発言があつた。身体能力を活かした運動である「フィジカルスポーツ」に対し、記憶力・判断力など頭脳の身体能力を使う競技を「マインドスポーツ」として定義されるなど、スポーツに対する概念が、大きく変化してきている。今後の取り組みを含め、市長に問う。

答弁 体育は知育・徳育とともに人格形成のために学校教育の一環として取り組まれていた背景があり、健康増進の意味合いが強かった。2020東京五輪を機会に「体育の日」から「スポーツの日」に変わったこともあり、スポーツというのには、体を動かすという人間の本源的な欲求に込めるだけでなく、爽快感・達成感・連帯感など精神的充

実、楽しみ喜びをもたらして、その上で体力向上・ストレス発散・生活習慣病の予防など、心身の両面にわたり健康の保持増進に資するものと捉えている。今回、国体から国スポに変わり皆この大会を盛り上げようと、鹿島ならではの企画をしている。観る人支える人にも夢や感動を与えることができるのがスポーツである。

は、社会全体の問題。貧困の状況は多種多様で、見えにくいものだが、社会全体で共有し、貧困の連鎖を断ち切る、防止することが重要とされている。

貧困家庭・子どもの貧困について

質問 子どもの貧困がもたらす社会への影響について、市長に問う。

答弁 大きな社会問題であり、教育格差、心を含めた健康状態まで影響を及ぼすものと捉えている。将来の雇用、将来所得など、人間関係・人生設計にも大きな影響が出てくる。貧困は個々の問題で



決算審査特別委員会委員長報告

本会議において本委員会に付託された議案第32号から議案第37号までの6議案につきまして、9月17日、18日、19日、20日の4日間にわたり委員会を開催した。

まず17日に以下の議案関係6カ所の現地調査を行った。

- ①松蔭神社石垣工事修理
- ②鹿島小学校屋外便所改修工事
- ③西部中学校体育館照明器具取替工事
- ④園芸施設の大雨浸水対策のための浸水防止壁・排水ポンプ設置
- ⑤市営新方住宅住戸改修1期工事
- ⑥道の駅鹿島の駐車場整備舗装工事等

市長以下、執行部の出席のもと、審査に入った。

一般会計は、歳入176億2846万3344円、歳出は172億9692万382円、差し引き3億3154万2962円の黒字決算。

国民健康保険特別会計は、歳入決算額38億5743万1802円、歳出決算額37億7195万8414円であり、8547万3388円の黒字決算。

後期高齢者医療特別会計は、歳入決算額4億8727万3259円、歳出決算額4億8213万4399円で、収支差引き513万8860円の黒字決算。

水道事業会計決算は、収益的収入5億3618万2387円、収益的支出4億6299万8137円、差し引き純利益は7318万4250円。

下水道事業会計決算は、総収入9億7189万9509円、総費用9億5720万7677円、差し引き1469万1832円。

監査委員から6議案に係る決算審査の結果について説明。

「審査に付された歳入歳出決算及び同附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた。」と報告を受けた。

説明後直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各委員からの多項目にわたる質疑があり20日の質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することとした。

決算審査特別委員会 委員長 福井正

【決算審査特別委員会の経過】

9月17日午前10時開会

主要施策の成果説明書の概要説明、決算審査等の概要説明、現地調査箇所の事業概要説明。午後より現地調査6カ所。

9月18日午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑（教育委員会、市民部、産業部ほか）

9月19日午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑（政策総務部ほか、建設環境部）

9月20日午前10時より終日

特別会計3議案、公営企業会計2議案質疑後、議案第32号から議案第37号までの一括討論、採決。



▲松蔭神社石垣工事修理



▲西部中学校体育館照明器具取替工事



▲園芸施設の大雨浸水対策のための浸水防止壁・排水ポンプ設置



▲道の駅鹿島の駐車場整備舗装工事等

賛成討論

議案第32号

議案第37号について

杉原 元博 議員

令和5年度一般会計決算は、長引くコロナ禍や不安定な国際情勢・円安等の影響で物価燃料高騰が続き、市民生活が大変な中での財政運営であり、歳入・歳出ともに170億円を超える決算となった。

待望の市民文化ホールが完成し多くの皆様の喜びに繋がっている。DX推進事業では、業務の効率化と市民サービスの向上に努め、市の公式LINE機能拡張で「手のひら市役所」も実現。民生費では、誰一人取り残さないとの観点から市民に寄り添った支援・財政運営がなされている。厳しい財政状況の中、応援券を市民全員に配布し、長崎本線利用促進も図られた。教育施設整備事業では、鹿島小学校のトイレの洋式化や西部中学校体育館の照明28個がLEDに変わるなど、子ども達の学校生活の環境整備が行われた。

物価高騰の終息が見えない中、市民生活の後押し・事業者への支援等を来年度予算編成に反映される事を要望し賛成討論とする。

反対討論

議案第32号

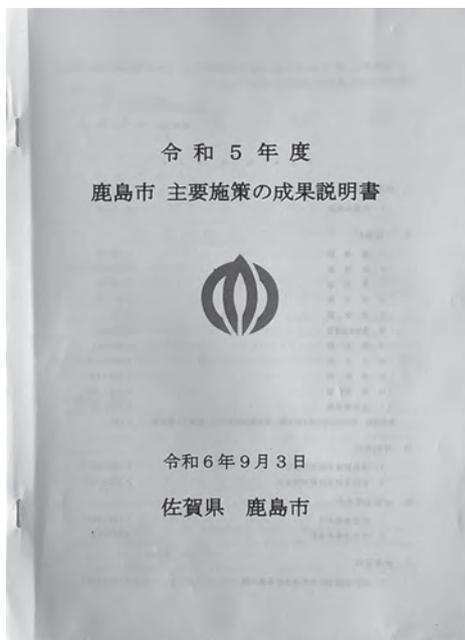
議案第37号について

松尾 征子 議員

高すぎる国保税安くしてとの声はますますおおきくなります。国保税引き下げの要求を続けてきました。

私は、引き下げのために未成年者にかけている均等割り25,200円を廃止することを訴え続けています。子どもが2人だと50,400円。3人だと75,600円です。これに家族も入れれば大変です。もともと収入のない未成年者に税金をかけること自体おかしなことです。未成年者にかけてられる均等割りの廃止だけでも税金を引き下げることができます。これでは、子どもを産むこともできず、少子化対策とは言えません。

いまだにこの問題で検討の動きもありません。早急に廃止されることを願って、反対するものです。



決算審査特別委員会

意見書第1号

小中学校の学校給食の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第1条に「食育の推進」がその役割と目的として規定されており、教科学習と並んで学校教育の一環となっている。学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、望ましい食習慣を養うなど、その教育的効果は大きい。

その経費の負担について文部科学省は、設置者の判断で保護者の負担軽減を図ることが可能であるという見解から、子どもの貧困対策はもとより、子育て支援や少子化対策として、小中学校の給食費を全額補助、または一部補助する市町村が増えてきている。

財政力が十分でなく無償化の実施が困難な自治体が多い中で、義務教育の家庭負担で自治体間格差が生じることは問題である。

未来を担う子どもたちに安心・安全で豊かな学校給食が、国の財政負担により、早期に無償で提供されることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年10月3日

佐賀県 鹿島市議会

| | | |
|-----------|--------|---|
| 衆議院議長 | 額賀福志郎 | 様 |
| 参議院議長 | 尾辻秀久 | 様 |
| 内閣総理大臣 | 石破茂 | 様 |
| 文部科学大臣 | 阿部俊子 | 様 |
| 内閣府特命担当大臣 | 三原じゅん子 | 様 |

以上のとおり意見書を提出する。

意見書第2号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や疲労、ストレスなどによる免疫力低下等により、体内に潜伏していた带状疱疹ウィルスが再活性化することで発症する皮膚疾患である。

日本人では、80歳までに約3人に1人が発症するといわれており、発症予防や重症化、後遺症を防ぐためにもワクチンが有効とされているが、接種費用が高額のため接種を諦める者も少なくない。

つきましては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年10月3日

佐賀県 鹿島市議会

| | | |
|--------|-------|---|
| 衆議院議長 | 額賀福志郎 | 様 |
| 参議院議長 | 尾辻秀久 | 様 |
| 内閣総理大臣 | 石破茂 | 様 |
| 厚生労働大臣 | 福岡資麿 | 様 |

以上のとおり意見書を提出する。

【環境未来都市特別委員会行政視察報告】

令和6年7月10日～12日

1 福岡県大牟田市－ESD及びSDGs未来都市について

大牟田市は、市内小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校が2012年に一斉にユネスコスクールに加盟し、全て持続可能な社会のための教育に取り組み、環境教育、国際理解教育、エネルギー教育、防災教育、生物多様性、気候変動、福祉学習、食に関する学習など多岐にわたる活動をされている。さらにその発展として、市内7つの高等学校及び高等専門学校や一般事業所や各種団体も巻き込んで、大牟田市全体に広がる素晴らしい取り組みであった。



2 宮崎県綾町

(1) 自然生態系農業について

綾町は独自の農産物認証システムを作り上げ、全国で初めて自然生態系農業の推進に関する条例を制定し、安全・安心な農産物生産・販売に取り組んでおられた。2030年には有機農産物を25%に増やすという国の方針もあるので、鹿島市でもなるべく早く豊かな自然生態系を維持できる農業を一步でも前に進めることができたらと思う。

(2) 綾ユネスコパークについて

綾町の自然は、照葉樹林に代表され、「綾町の自然を守る条例」、「照葉樹林都市宣言」、「綾町照葉の里景観条例」を策定し、自然とともに町政を進展する方針を明確にしている。そうした中、平成24年にユネスコパークに認定され、過去の取り組みが評価されたことだけではなく、綾町の自然を未来に引き継ぐという思いを世界に宣言された。

鹿島市でもラムサール条約推進室を中心に干潟や里山での生物調査など行われているが、今後鹿島市全体の自然に目を向けて取り組むことがSDGs未来都市鹿島の生き方と考える。

3 宮崎県延岡市－農産物の地産地消・食育推進について

延岡市は食の町として売り出しており、水産物の売り上げは100億円を超し、カンパチやメヒカリ、山間部では冷凍シイタケ、アユの塩焼きが有名で、このように新鮮な地域の産物を多くの直売所やスーパーなどに置くことで地産地消を進めているとのことであった。

鹿島市では、陸上の産物は豊かであるが、有明海では全くと言っていいほど庶民の口に上る魚介類がとれなくなった。地元でとれたものをまず地元民が味わうことのできる健康な海を取り戻す必要があると感じた。



4 福岡県みやま市－エネルギーの地産地消

持続可能な人類の暮らしを考えていくとき、どうエネルギーを使えばいいかが大きな課題となる。そうした課題をみやま市は「未来につながる、持続可能な地域へ」のスローガンのもと、自治体主導で地域新電力会社を設立し、エネルギーを自ら作り出し、自らの自治体内で消費するエネルギーの地産地消に取り組んでおられた。経営も順調で地域産業の活性化、市民サービスの充実にも貢献し、市民の暮らしにかかわる環境全般にわたる視点での取り組みが大変すばらしいと感じた。

環境未来都市特別委員会 委員長；樋口作二 副委員長；勝屋弘貞
委員；中村和典（副議長）・角田一美・池田廣志・中村日出代・釘尾勢津子

【議会運営委員会行政視察報告】

●日程

令和6年8月6日～8日（視察先：4箇所）

委員長：中村一堯 副委員長：杉原元博
委員：福井正、角田一美、池田廣志、中村日出代
オブザーバー：中村和典副議長

糸満市議会 人口62,211人 議員定数21人

●子ども議会の取り組みについて

糸満市市制50周年の節目に、中学生を対象に子ども議会を開催。次代を担う中学生に子ども議員として実際に市議会を体験してもらい、市政や議会活動に関心と理解を持ってもらうため実施。市内6中学校から各3名、合計18名の生徒が市政について質問。子供達から市政に対して意見はないが、学校の校則について見直しを求められた。



「子ども議会の取り組みについて」糸満市

株式会社アイセックジャパン

●文字情報保護サービス

高齢者や聴覚障がい者向けサービスとして、リアルタイム文字配信サービスを提供。佐賀県内では武雄市議会がアイセックジャパンと業務委託契約を行っており、本会議の状況をリアルタイムでテレビ画面に文字情報で提供し、議事録作成まで当社に依頼している。市民サービス、議事録の活用面、費用対効果を鹿島市議会でも少しずつ検討していく。



「文字情報保護サービス」
(株)アイセックジャパン

議場コンサートのご案内

鹿島市制施行70周年を記念し、多くの方が議会に関心を持つきっかけとなるよう議場を開放し、議場コンサートを実施します。

日時：令和6年11月29日（金）9時25分～9時45分（※予定）
場所：鹿島市議会議場（鹿島市役所4階、5階傍聴席）
※時間など詳細は、後日、改めて周知いたします。

奮ってお越しください！



（前回：市制60周年記念議場開放ステージの様子）

第14回鹿島市議会報告会のご案内

日時：令和7年2月14日（金）18時30分～
場所：エイブルホール
内容（予定）：第1部 議会報告会
第2部 議員と語る会
※内容は予定です。詳細は、後日、改めて周知いたします。

市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております。



（前回：第13回議会報告会の様子）

議会あれこれ (令和6年7月～9月)

7月

- 2日 長崎本線利用促進期成会総会
杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
議会だより編集会議
- 4日 環境未来都市特別委員協議会
- 9日 議会だより編集会議
- 10日 環境未来都市特別委員会行政視察 (～12日)
- 16日 部落差別撤廃・人権擁護審議会
臨時議会運営委員会
- 23日 環境未来都市特別委員協議会
- 24日 知事・市町議会議長懇話会
議会だより編集会議
- 25日 文教厚生産業委員協議会
- 26日 佐賀県市議会議長会議員研修会
- 29日 地域交通まちづくり特別委員会行政視察
- 31日 佐賀県市議会議長会先進都市視察研修 (～8月2日)

8月

- 6日 議会運営委員会行政視察 (～8日)
- 19日 杵藤地区広域市町村圏組合議会勉強会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
総務建設環境委員協議会
- 26日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 27日 藤津・鹿島地区衛生施設組合定例議会
- 30日 議会運営委員会



9月

- 3日 9月定例会 開会 (～10月3日)
- 9日 9月定例会 議案審議
議会運営委員会
- 10日 9月定例会 議案審議
議会情報発信・議場解放プロジェクト会議
- 12日 文教厚生産業委員会
- 17日 決算審査特別委員会 (現地調査)
鹿島青年会議所との意見交換会 (議会運営委員会)
- 18日 決算審査特別委員会 (一般会計) (～19日)
- 20日 決算審査特別委員会 (特別会計・公営企業会計)
議会報告会プロジェクト会議
- 26日 議会運営委員会
9月定例会 一般質問 (～27日)
- 27日 全員協議会
- 30日 9月定例会 一般質問 (～10月1日)

行政視察受入状況(令和6年7月～9月)

- 7月 2日 千葉県香取市議会 (5人)
- 7月 3日 嬉野市議会 議会運営委員会 (9人)
- 7月 9日 奈良県大和郡山市議会 (3人)
- 8月20日 伊万里市議会 (7人)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

| 区分 | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 合計 | |
|-----|----|--------|----|----|----|----|----|--------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 弔意 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 見舞い | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 祝儀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 会費 | 2 | 13,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 13,000 |
| 接遇 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 2 | 13,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 13,000 |

編集後記

早朝、澄み切った空気の中、干拓の変化を楽しみながら愛犬の散歩に付き合うのが私の日課です。

寒い冬に芽を出し初夏に黄金色に染まる麦。その収穫のちに田水が張られ、か弱そうに見えた早苗が成長し、爽やかな緑色の絨毯となる。そして白い小さな花を咲かせたあと、たわわに実り首を垂れる稲となり喜びの収穫を迎える。

「氣」の旧字体は「氣」と書きます。「米」は八方に広がるという意味があり、「氣」はエネルギーが八方に広がるという文字になります。

米からできるお酒。行幸啓の折、鹿島の酒を美味しく楽しんだという陛下のお言葉。「市民として至高の誉れに感じた次第です。」

「元氣のあるまちづくり」に取り組んでまいります。

令和6年度 かしま議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 勝屋 弘貞 |
| 副委員長 | 宮崎 幸宏 |
| 委員 | 松尾 征子 |
| 委員 | 杉原 元博 |
| 顧問 | 中村 和典 |

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。